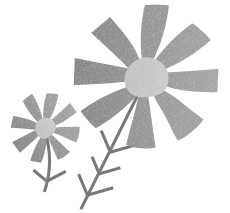




## 町長室だより

築上町長 新川 久三



山の木々も少しずつ色づき始め、朝晩は冷気を感じる季節となりました。2月から新型コロナウイルス感

染症が蔓延し、ようやく福岡県内では下火になりつつあります。本町では3名の陽性者が出ましたが軽度の症状で大事に至らず、また集団感染もなく、これは町民の皆様のおかげの賜物と感謝申し上げます。

下火になったとは言え、火種は日本全国にあります。万全を期した感染予防を自己管理のもとお願い申し上げます。

### 延塚奉行の遺徳

築上町民の多くは築城郡（ついきごおり）奉行延塚卯右衛門氏の遺徳を偲び感謝していると思います。

天保7年（1836年）は大水害により秋の収穫は皆無で大飢饉に陥り、

領民は藩から借用した根付料の返済が出来ずに困難を来たしていました。そこで奉行は藩に農民の窮状を訴

え、根付料の減免・返済延期を具申したが、藩の財政事情も厳しい折から奉行の具申は退けられました。同年12月1日、奉行は独断で根付

料の返済免除の御触れを出し、農家の窮状を救済しました。奉行は同日遺書を残し藩への不忠に対して責任を取り自刃をしました。

昭和30年1月1日に椎田町、八津田村、葛城村、西角田村が合併し、新しい椎田町が誕生して、辻畑重俊町長が代表発起人となり延塚奉行顕彰会が設立され、平成18年1月10日の椎田町・築城町の合併後も継承し現在に至っています。

延塚奉行顕彰会は毎年度奉行の追善供養祭を行い、本年は12月13日に椎田学習等供用施設（延塚記念館）で

10時から行います。奉行顕彰武道大会は椎田体育館で同日9時から行います。

延塚奉行の遺徳を多くの町民から理解を得て共感していただくために、自治会長会のご協力をいただきながら1000円募金を行い、毎年度60万円程度のご芳志をいただいています。

この募金の使途は追善供養祭の経費、浜宮と小山田にある顕彰碑の維持管理、武道大会の経費の一部として町からの補助金と共に充てさせていただきます。

### 新庁舎完成間近

建設中の新庁舎は今まで足場と覆いで目にする事が出来ませんでした。これらの一部が除去され外観が現れました。新型コロナウイルス感染症対策で工事を一時中断、作業員の手配が平時通りにならないと請負業者から工期の延長要求があり、これを妥当と認め10月30日の臨時議会に「工期の変更（来年3月25日までに6月15日までに）」、「コロナ対策費の

一部増額」を議案として提出します。この広報紙が町民の皆様が届く頃には議決の可否が出ています。

12月中には新庁舎は完成して1月に移転する予定としており、移転後に現庁舎の取り壊しと駐車場等の外構工事を行う事としています。

向寒の候、町民の皆様には風邪や新型コロナウイルス感染症にも気を付け、ご自愛いただくことをお願い申し上げます。

